

内閣総理大臣杯争奪  
第39回日本車椅子バスケットボール選手権大会  
個人トータル表

2010年5月3日 16時00分開始

1回戦

東京体育館 D - 1

◎  
三重チャリオッツ  
(東海北陸)

86

24 1クォーター 6  
16 2クォーター 13  
28 3クォーター 5  
18 4クォーター 10

34

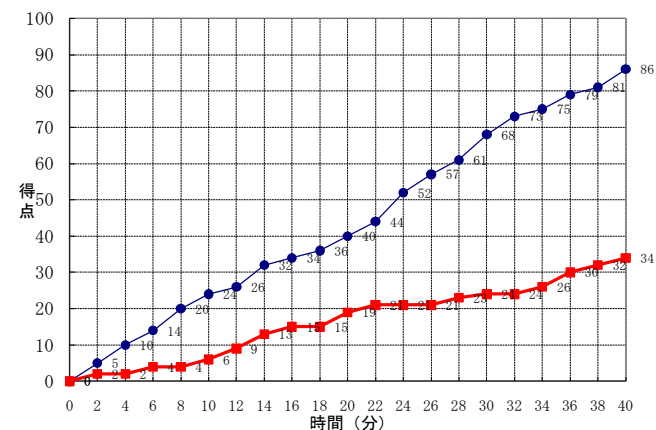
宮城SPARKS  
(東北)

番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
5	前田 浩司 (3.5)	-	-	-	-	-	-	-	* 6	菊地 孝 (1.0)	0	0	0	0	-	-	2
* 6	稲葉 潤一郎 (3.5)	22	0	10	2	-	-	3	* 7	五十嵐 雄也 (2.5)	7	0	3	1	-	-	1
* 7	山口 幸伸 (3.5)	18	0	9	0	-	-	3	9	阿部 勇 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-
9	楠後 武文 (1.0)	1	0	0	1	-	-	0	* 10	遠藤 勝久 (3.5)	15	0	6	3	-	-	4
* 11	三浦 文閣 (2.5)	27	0	11	5	-	-	0	11	齋藤 光広 (2.0)	0	0	0	0	-	-	0
12	奥田 智也 (4.0)	14	0	7	0	-	-	0	* 12	三浦 清助 (4.0)	6	0	3	0	-	-	4
* 14	伊藤 真大 (2.0)	4	0	2	0	-	-	2	* 14	佐藤 倫彦 (2.0)	2	0	1	0	-	-	3
* 15	須藤 慎也 (2.0)	0	0	0	0	-	-	4	15	春日 大志 (2.0)	4	0	2	0	-	-	3
コーチ	高田 千絵								コーチ	及川 英人							
Aコーチ	金谷 衣里子								Aコーチ	阿部 勇							
マネージャー	芝崎 静香								マネージャー	環貫 ゆかり							
マネージャー	小林 恭子								マネージャー	佐藤 みゆき							
マネージャー	荒木 由里子								マネージャー	小宮山 花							
合計		86	0	39	8	0	0	12	合計		34	0	15	4	0	0	17

主審： 清宮 太郎  
副審： 蝦名 准  
副審： 吉澤 京子

得点経過

● 三重チャリオッツ



〔戦評〕

(担当：松木/観音/長岡)

1Q タップオフから三重ボール、#11のランニングシュート、ドライブインシュート及びカウント1スローが決まり、先制。宮城SPARKSも#10のミドルシュートで応ずるも、三重#7のミドルシュートでリードを広げる。三重#11のうまいゲームメイクによりリードを広げていく。三重が16~4とリードしたところで宮城SPARKSタイムアウト、しかしなかなか自分たちのプレーができず苦しい展開が続く。三重は#6のゴールシュートやミドルシュートがうまく決まり、点差を広げ、24-6三重リードで終了。

2Q 宮城SPARKSボールでスタート、#12のミドルシュートが決まり点差を冷たいところだ。しかし三重#7が落ち着いてミドルシュートを続けて決めリードを広げていく。宮城SPARKS3分経過したところでタイムアウト、コンビネーションプレーが決まり元気づく。三重攻守のリズムに乱れが出たところでタイムアウト。宮城SPARKS、うまい攻撃もゴールに嫌われ追いつけず、一方三重はうまいパス回しからのシュート、#11のスピードあるドライブインシュートなどでリードを広げる。2Qは16-13と宮城SPARKS善戦、前半三重が40-19でリードして終了。

3Q 三重は#9、#12のベテランが登場し、ディフェンスを固めミス誘い得点を重ねていく。一方宮城SPARKSはほとんど得点できずに時間が経過していき。何とか食いさがるたい宮城SPARKSだが、結局三重が3Q 28-5と大きくリードを広げて終了。

4Q 宮城SPARKSボールからスタート、三重の厳しいディフェンスを攻めきれず、一方三重の攻撃はうまくボールが回り面白いように得点を稼いでいく。何とか宮城SPARKS#10のミドルシュート、#12のゴールシュートで得点するも三重のリズムは崩れない。宮城SPARKS#7のスピードあるプレーもあり、何とか食い下がる。一方、三重は時間いっぱい使ったゆっくり確実なプレーで得点していく。4Q 三重18-10とリードして終了。結局三重が52点差の大量リードで勝利。